



古河瓦版

株式会社 古河

TEL : 03-3623-7176

FAX : 03-3624-4401

○こちら古河営業部

秘密は楮（こうぞ）の歴史にあり!?

和紙の加工品を全国の寺社仏閣に販売されているお客様がいらっしゃるのですが、雑談のなかで『楮が入っている紙が喜ばれます』というお話を聞きました。楮が入るだけで何が違うのだろうか?和紙の歴史に理由があると考え調べてみました。日本には仏教と共に製紙技術が伝わったとされているそうなのですが、日本製で最も古い紙は正倉院にある 702（大宝 2）年の戸籍断簡 3 点の用紙でいずれも楮を原材料としていたようです。楮は紙の原料になる以前には物を縛る結束の材料として使われていたらしく、出雲大社創建の時に柱などを縛る材料として使われたことが『出雲風土記』に記されているという書物もありました。神社やお寺にある紙垂（しで）や千社札の多くは屋外にあり、風雨にさらされることから、強靱で長い年月に耐えられる楮が重宝されるのかもしれませんがね。コロナ禍ですが年末年始にお寺や神社にお参りに行った際に、紙垂や千社札を見てみてください。木の皮のような繊維があればそれは楮入りの和紙かもしれません。（飯塚大輔）

参考文献：和紙植物（有岡利幸著）地域資源を活かす生活工芸双書楮・三極（田中求 宍倉佐敏 冨樫朗著）

○断裁所の断ち話

レーザー光で焼き切ります。

当社へ断裁のご依頼を頂くなかで、型抜き加工のお問合せも頂戴しております。その中で「ダミーを作るので数枚欲しい」「少量で抜型を作る程の量ではない」「曲線が多い」とご相談頂く事がございます。そういった場合はプロッターカットやレーザーカットでのご提案をさせて頂いております。プロッターカットはコンピューターのデータに合わせて刃を走らせてカットしますので、抜型代も掛からずに少量に対応しております。レーザーカットはレーザー光で焼き切りますので、抜型では再現できない細かい曲線もデータの通り抜く事が出来ます。しかしレーザー光の為に紙に焦げ跡が付く場合もございます。素材や用途、数量により抜加工も色々な方法がございますので是非ご相談下さい。（荒牧龍也）



曲線も細い線も綺麗に焼き切れます

○紙商人のつぶやき

子どもへのプレゼント

年末年始はプレゼントをする機会が多く、子どもの喜ぶ顔が見れる反面、親としてはプレゼントの中身や金額等で悩ましくもあります。息子は絵本が大好きなので、どんな絵本にしようか書店で絵本を手に取りつつ、仕上げが綺麗なもの、難しそうなの、手間のかかっていそうなもの等、つつい製本方法や製本所まで気にして見てしまいます。先日、息子の本棚を見てみたところ、1 ページが約 2mm のボールに印刷・貼り・抜き加工が施されている絵本がありました。文章で伝えるのは難しいのですが、閉じたときにピッタリ収まるように凸貼り凹凸抜きがされていて、少しでもズレてしまうと閉じなくなってしまうし、赤ちゃんが触れる絵本なので断面の仕上げがとても滑らかになっています。そういった素晴らしい製本された絵本を見て育った息子は今、ゲームが欲しいそうです。父ちゃんは更に悩みます…。（古河英徳）

編集後記

世界を一変してしまったコロナが発生してあっという間に令和 2 年が終わろうとしております。これからの季節はインフルエンザにも注意が必要です。「手洗い」「うがい」「マスク」をしっかりしてワクチンが出来るまでコロナ禍を乗り越えていきましょう。そして次号以降は瓦版を配りにお伺いして、笑顔で皆様にご挨拶が出来る生活に戻る事を願っております。（荒牧龍也）